

英語を楽しく

☆英語の文法も時代と共に変わる。

中学校の3年生では、関係代名詞について学習しますが、理解に苦しんだ人もいのではないのでしょうか。実は、この関係代名詞にも使い方の変化があります。

He has a sister who is studying design in Italy.

「彼はイタリアでデザインを勉強している姉がいる。」

上の文は

① He has a sister

② She is studying design in Italy. 下線は同じ人物

①、②を主格の who で1つの文にしたものです。

関係代名詞
分詞・受態・完了形
まひて
おう



The man whom you want to see is out of town today

「私が会いたい人は、今日出張しています。」

① The man is out of town today

② You want to see the man. 下線は同じ人物

①、②を目的格 whom で1つの文にしたものです。

中学校で学んだ英文法では、

関係代名詞を使う場合、このページでは②の下線の部分が

「主格の時 は who

目的格の時 は whom を使う」ということでした。しかし、

現在では、

The man who (m) you want to see is out of town today

のように[who]でも使えることになっています。

英語をより簡単にする方向に人々の考えが向いたのです。

(このような現象は他にもあります。)

<注 who・whom の代わりに[that]は以前からも使われていますね>